

2016 年度京都造形芸術大学芸術学部通信教育部入学式 式辞

2016 年 4 月 10 日（日曜日）

尾池和夫

京都造形芸術大学芸術学部通信教育部に入学、あるいは編入学された皆さん、大学院芸術研究科修士課程（通信教育）に入学された皆さん、また科目等履修生となられる方々のご入学、まことにめでたうございます。

列席の瓜生山学園の役員、副学長、すべての教職員とともに、ご入学を心からお祝いいたします。皆さんは各地からこの瓜生山の地に来られました。北白川にあるこの地は、かつて縄文人が住み、平安京ができる前から愛宕郡粟田郷と呼ばれて栄えた土地です。瓜生山の「ウリ」は縄文人が話していたと考えられる古アイヌ語では「丘」の意味、北白川の「シロ」は、「縄張り」、あるいは「生きる糧を得る場所」という意味なのだそうです。

本学と姉妹関係の大学である東北芸術工科大学は、縄文文化の地である山形市にあり、この京都造形芸術大学は、1300 年の歴史を持つ京都盆地にあります。さらに列島を西へたどると、青銅器の西出雲と鉄器の東出雲という、日本海を中心として国家が形成された出雲の地があり、日本海沿岸には縄文前期から人が住みつつ、同時に古き時代の都の文化を伝える隠岐諸島があります。

そのような場所で、人生経験を積み上げて来られた皆さんが、その蓄積した智恵に加えて、磨いてきた技術に加えて、さらに磨きをかけた芸術活動にとり組むために入学されました。今までの困難を克服しての皆さんのご入学を、しっかりと支援してこられたご家族の皆さまにも、感謝しつつ、お祝い申し上げます。

本学の人間館には『藝術立国之碑』があり、そこにこの大学の基本理念が書かれています。芸術の力が人類の平和をもたらすことを願って、私も仕事をしています。今年の 3 月 31 日のニュースにはたいへん重要なものがありました。縄文人の骨を調査して、戦争が人間の本能じゃないという可能性を論じる論文のことが紹介されました。山口大学と岡山大学などの研究グループが、狩猟採集によって暮らしていた縄文時代の 2582 体の人骨のデータを全国 242 か所で収集し、そのうち大人 1044 体を調べると、傷を受けていたのは 19 体にとどまり、暴力による死亡率はたったの 1.8%だったということが判明しました。先行研究のヨーロッパ、米国、アフリカなどの狩猟採集時代の暴力死亡率が 10 数%に昇るために、戦争は人間の本能によるものであると、従来考えられてきました。それが今回の縄文人の骨の調査から考えれば、戦争の発生は人間の本能によるものではなく、環境、文化、社会形態などの要因によって左右されるという可能性が出てきたのです。このことに芸術が平和に貢献できる可能性が秘められていると私は思いました。

縄文人については、もう 1 つ重要なニュースがあります。若狭町の鳥浜貝塚で出土した縄文土器片を調べていたイギリス、ヨーク大学の研究チームが、縄文土器が 9000 年にわた

って、ほとんど魚介類を煮るために使われていたという研究結果を米アカデミー紀要に発表したというニュースです。14000年前から5000年前までの土器片を分析して、その約8割から、魚介類の脂を検出したというのです。貝塚からは鹿や猪を食べた跡も見つっていますが、土器は動物の調理には使われていなかったようだということです。日本人の食文化を考えるためにも貴重な発見であると言えます。

ところで、この通信教育部は、18歳から84歳までの方たちが学ぶ学舎です。今年は18歳の方たちにとって大きな出来事があります。それは選挙権を持つということです。総務省ではこの3月までに全国、47都道府県のすべてで学習会を実施しました。参加された方もおられると思います。例えば沖縄県では今年の3月18日、名護市観光大使、ファシリテーターの嘉陽（かよう）宗一郎さん、アナウンサー阿花（あか）ゆきのさんの進行でワークショップが、那覇市おもろまちにある沖縄県立博物館・美術館で開催されました。新しく選挙権を持つ方たちにも、真剣に考え抜いた貴重な1票を投じることにより、日本の政治への積極的な参加を期待しています。

今年の通信教育部の卒業式は3月19日行われました。高松市の平田繁実さんが96歳と200日で、この日の卒業式を迎えられました。陶芸の道を究めようと平田さんが入学されたのは2005年、85歳の時でした。レポートの作成、計約200日間の通学などをこなし、11年がかりで単位を取得して卒業証書を受け取られました。平田さんは新聞記者のインタビューに応じて「感激した。支えてくれた人たちや元気に生きられたことに感謝している」と笑顔で話しておられました。人生の大先輩に、私たちも大きな勇気を与えられる卒業式でした。「語らい」と名付けた平田さんの卒業制作の作品がウェブサイトに掲載されています。その、優しい曲線の2つの壺を、ぜひご覧ください。

4月7日9時現在で、通信教育部への学部入学者は961名、大学院には82名の方が入られました。また科目等履修生は118名です。これで通信教育部の在學生は、学部で5829名、大学院には173名、科目等履修生は118名が在籍されます。学部の最高年齢は、84歳が4名、大学院には79歳が2人おられます。皆さまには世界記録の更新はせずに短期間で卒業していただきたいと思っています。

通信教育の実情は国によってかなり差があります。隣国の中国では、中央広播電視大学が1979年に設立され、それが2012年に国家開放大学と改名されました。この国家開放大学は、テレビ、ラジオ、インターネットなどを活用する通信制の大学です。

韓国放送通信大学校は、大韓民国の国立大学です。遠隔教育および生涯教育機関として設立されました。

アメリカ合衆国でも通信教育で学位を出す大学がありますが、他大学への編入や大学院への進学ができる学位は、全米の大学教育認可組織から認可を受けているものでなければ

なりません。

日本の通信教育の歴史を振り返ってみましょう。現在の形態の大学通信教育は、1946年3月に学校教育法によって制度化されました。1947年10月には法政大学で初めて大学通信教育課程が開講し、1952年に法政大学などで初めて通信教育課程による卒業生が出ました。1981年には、テレビとラジオによる放送大学が設立されました。2000年代になってインターネットを活用し、動画と音声配信によって講義を視聴できる、eラーニング方式の通信教育をおこなう大学ができました。1998年3月になってようやく通信制大学院の開設が可能となり、1999年4月に修士の学位を授与する課程が設置されました。次いで2003年に博士の学位を授与する課程も設置されました。

そのような歴史の中で、本学が芸術系大学として初めて4年制通信教育部を設置したのは、1998年でした。また2007年には、通信制大学院（修士課程）を設置しました。今では、北海道から沖縄まで約6000名の方が学習する体制が整えられており、とくに添削指導が丁寧であるという評価をいただいています。その本学の通信教育部を選んで今日の入学式を迎えられた皆さんの学習を、この瓜生山学園のすべての教職員が一丸となって支援していくために、すでにさまざまな準備をしています。その機能を十分に活用していただき、これからの学習と制作活動に取り組んでいただき、スクーリングをはじめとするさまざまな行事にどんどん参加していただきたいと思っています。

くれぐれも心身の健康に留意しながら、さっそく活動を始めていただくようお願いして、今日の入学式の式辞といたします。

ご入学、あらためてまことにおめでとうございます。

ありがとうございました。